

## 登園届（保護者記入）

あびこ菜の花保育園 殿

令和 年 月 日

組 園児名

（病名）（該当疾患に☑をお願いします）

<input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス	<input type="checkbox"/>	インフルエンザウイルス
<input type="checkbox"/>	ヘルパンギーナ	<input type="checkbox"/>	RS ウイルス感染症
<input type="checkbox"/>	マイコプラズマ肺炎	<input type="checkbox"/>	帯状疱疹
<input type="checkbox"/>	手足口病	<input type="checkbox"/>	突発性発疹
<input type="checkbox"/>	伝染性紅斑（リンゴ病）	<input type="checkbox"/>	アデノウイルス
<input type="checkbox"/>	感染性胃腸炎 （ノロ、ロタ、等のウイルス）	<input type="checkbox"/>	ヒトメタニューモウイルス
<input type="checkbox"/>	とびひ	<input type="checkbox"/>	頭ジラミ
<input type="checkbox"/>	溶連菌感染症	<input type="checkbox"/>	

医療機関名 『 』

において上記と診断されました。

医師より病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので登園いたします。

## 保護者名

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぎ、一人ひとりの子どもが一日快適に生活できることが大切です。

保育園入所児がよくかかる下記の感染症については、裏面に記載されている登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園許可書の提出をお願いします。なお、下記に関わらず症状のある場合は、受診の上、登園できるか医師と相談し、保育園での集団生活に適応できる状態に回復してから登園するようご配慮ください。

## 登園届（保護者記入）

あびこ菜の花保育園 殿

令和 年 月 日

組 園児名

（病名）（該当疾患に☑をお願いします）

<input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス	<input type="checkbox"/>	インフルエンザ
<input type="checkbox"/>	ヘルパンギーナ	<input type="checkbox"/>	RS ウイルス感染症
<input type="checkbox"/>	マイコプラズマ肺炎	<input type="checkbox"/>	帯状疱疹
<input type="checkbox"/>	手足口病	<input type="checkbox"/>	突発性発疹
<input type="checkbox"/>	伝染性紅斑（リンゴ病）	<input type="checkbox"/>	アデノウイルス
<input type="checkbox"/>	感染性胃腸炎 （ノロ、ロタ、等のウイルス）	<input type="checkbox"/>	ヒトメタニューモウイルス
<input type="checkbox"/>	とびひ	<input type="checkbox"/>	頭ジラミ
<input type="checkbox"/>	溶連菌感染症	<input type="checkbox"/>	

医療機関名 『 』

において病名上記と診断されました。

医師より病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので登園いたします。

## 保護者名

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぎ、一人ひとりの子どもが一日快適に生活できることが大切です。

保育園入所児がよくかかる下記の感染症については、裏面に記載されている登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園許可書の提出をお願いします。なお、下記に関わらず症状のある場合は、受診の上、登園できるか医師と相談し、保育園での集団生活に適応できる状態に回復してから登園するようご配慮ください。

○医師の診断を受けてから登園することが望ましい感染症（登園届を提出）

感染症名	症状及び感染しやすい期間	登園のめやす
新型コロナウイルス	発症日を0日目として5日間は外出を控える。5日目に症状が続いていた場合は、熱が下がり、痰や喉の痛みなどの症状が軽快して24時間程度が経過するまでは、登園は控える。症状が重い場合は、医師に相談すること。	
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と、開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること 全身状態が良いこと
インフルエンザ	症状が有る期間（発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い）	発症した後5日経過し、かつ解熱した後2日経過していること（乳幼児にあっては、3日経過していること）
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症し適切な治療を開始し1～2日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、全身状態が良く、普段の食事がとれること
伝染性紅斑（リンゴ病）	発しん出現前の1週間	全身状態がよいこと（発しん期には感染力がない）
ヒトメタニューモウイルス	熱が下がっても、最低7日間は感染力がある	症状が治まり通常保育が可能である事。但し感染力があることを考慮
感染性胃腸炎（ノロ、ロタ、等のウイルス、胃腸炎含む）	症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが数週間ウイルスが排出しているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること、全身状態が良いこと
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1か月程度ウイルスを排出しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、全身状態がよく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間6か月未満児は重症化しやすい4～6日間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間 水痘にかかったことのない児が接触した場合は水痘にかかりやすくなる	全ての発しんが痂皮化（かさぶた）してから
突発性発しん	赤ちゃんや子供にうつりやすいため、感染した場合は保育園への登園や外出は控える	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと
アデノウイルス感染症	咽頭炎のどの腫れ・痛み・結膜炎（目ヤニ・目の充血）高熱（38度～40度近い高熱）	症状が消えた後2日間経過し、かつ全身状態が良好になるまで
溶連菌	適切な治療を開始する前と開始後1～2日間	抗菌薬内服後24時間経過し、熱もなく食事が取れていること
とびひ	水ぶくれやただれの範囲が広くガーゼなどで覆いきれない場合、感染しやすい。	水疱などの病変部をガーゼなどで外用処置してきちんと覆ってあれば、欠席する必要はない
頭ジラミ	髪の毛に寄生しているうちは移りやすいため、すぐに駆除が必要（スミシリンシャンプー等）	皮膚科医師の指示を受け、登園許可が出たら登園可能。

※保育園で通常みられないような感染症の流行が起こった場合、その感染の拡大を防ぐ必要があるときに限り、園長が嘱託医の意見や保健所の指導に従い、上記の感染症を緊急的に出席停止の措置をとることがあります

○医師の診断を受けてから登園することが望ましい感染症（登園届を提出）

感染症名	症状及び感染しやすい期間	登園のめやす
新型コロナウイルス	発症日を0日目として5日間は外出を控える。5日目に症状が続いていた場合は、熱が下がり、痰や喉の痛みなどの症状が軽快して24時間程度が経過するまでは、登園は控える。症状が重い場合は、医師に相談すること。	
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と、開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること 全身状態が良いこと
インフルエンザ	症状が有る期間（発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い）	発症した後5日経過し、かつ解熱した後2日経過していること（乳幼児にあっては、3日経過していること）
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症し適切な治療を開始し1～2日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、全身状態が良く、普段の食事がとれること
伝染性紅斑（リンゴ病）	発しん出現前の1週間	全身状態がよいこと（発しん期には感染力がない）
ヒトメタニューモウイルス	熱が下がっても、最低7日間は感染力がある	症状が治まり通常保育が可能である事。但し感染力があることを考慮
感染性胃腸炎（ノロ、ロタ、等のウイルス、胃腸炎含む）	症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが数週間ウイルスが排出しているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること、全身状態が良いこと
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1か月程度ウイルスを排出しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、全身状態がよく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間6か月未満児は重症化しやすい4～6日間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間 水痘にかかったことのない児が接触した場合は水痘にかかりやすくなる	全ての発しんが痂皮化（かさぶた）してから
突発性発しん	赤ちゃんや子供にうつりやすいため、感染した場合は保育園への登園や外出は控える	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと
アデノウイルス感染症	咽頭炎のどの腫れ・痛み・結膜炎（目ヤニ・目の充血）高熱（38度～40度近い高熱）	症状が消えた後2日間経過し、かつ全身状態が良好になるまで
溶連菌	適切な治療を開始する前と開始後1～2日間	抗菌薬内服後24時間経過し、熱もなく食事が取れていること
とびひ	水ぶくれやただれの範囲が広くガーゼなどで覆いきれない場合、感染しやすい。	水疱などの病変部をガーゼなどで外用処置してきちんと覆ってあれば、欠席する必要はない
頭ジラミ	髪の毛に寄生しているうちは移りやすいため、すぐに駆除が必要（スミシリンシャンプー等）	皮膚科医師の指示を受け、登園許可が出たら登園可能。

※保育園で通常みられないような感染症の流行が起こった場合、その感染の拡大を防ぐ必要があるときに限り、園長が嘱託医の意見や保健所の指導に従い、上記の感染症を緊急的に出席停止の措置をとることがあります。